



～10月のクラスだより～



ひよこ組

【10月の保育のねらい】

- ・保育者と一緒に、好きな絵本を繰り返し読んで楽しむ。
- ・戸外で身体を動かすことを楽しむ。

<絵本に興味津々！>

飛行機を見つけると、「ブーン！ブーン！」と指を差したり、ぬいぐるみを見て、「ニャンニャン」と話したりと言葉が少しずつ出るようになってきたこともたち。「飛行機あったね」「ニャンニャンかわいいね」等一緒に発見を楽しんでいます。

最近、絵本に興味を示すようになり、食べ物や動物、乗り物の絵本を夢中になってみえています。絵本に載っている果物の絵を見つけると、「まんま！」と言いながら大きな口を開け、果物をつまんで食べる真似をしていました。「美味しいね」と声を掛けると、保育者の口元にも手を伸ばし、「アーン」と食べさせてくれました。絵本に出てくる色々な果物を、一緒につまみ食いして楽しみました。

絵本は心を豊かにする大切な物だと考えています。絵本を通して、一緒にやり取りをしたり、面白い言葉のリズムや響きを楽しんでいけたらと思います。



りす組

【10月の保育のねらい】

- ・季節の自然物に触れながら、探索を楽しむ。
- ・保育者や友だちと手を繋いで歩く。

<歩いてお散歩たのしいね>

気温が落ち着いている日に散歩へ行くようになりました。夏前の散歩のときは少し歩いたら箱車に乗っていましたが、その頃よりも歩くことが上手になり、保育者と一緒に手を繋いで片道ずっと歩けるようになってきました。「ピーポーいないね」「ワンワンいた」などと公園までの道のりも色々な発見をしながら、楽しんでいます。今、新しいポシェットがお気に入りのこどもたち。「お散歩行く？」と保育者が聞く前から「おさんぽ」と言って、自分で帽子を被り、ポシェットを掲げ、散歩へ行く支度を始めています。「もう支度しているの？」と聞くと「うん、かばんー」と言い、散歩へ行くのを楽しみにしています。公園に着くと、こどもたちはドングリ拾いに夢中！「あったー」と保育者に見せに来てくれたり、「ここにあるよ」とお友だちに教えてあげたりしています。見つけたドングリはそれぞれこどもたちが持っているポシェットに入れて持ちかえています。帰り道では「いっぱい」とポシェットの中を見て嬉しそうな表情をしています。今月は集めたドングリを使って制作をしたり、秋の自然にたくさん触れたり、平和の森公園など広い公園にも行って、身体をのびのびと動かして楽しみたいと思います。



うさぎ組

【10月の保育のねらい】

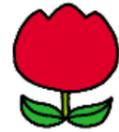
- ・保育者に促されて、自分で着脱し、片付ける。
- ・散歩に出かけ、全身を使って遊びを楽しむ。

<座ってじっくりと>

この夏は、テラスに4つのたらいを広げて色水遊び、金魚すくい、花の形のおはじきを使って水遊びを存分に楽しみました。残念なことに、あまりの気温の高さにより外に出て遊ぶことが出来ない日も多々ありました。

室内で身体を動かすことも活発ですが、手先を使いじっくりと取り組むことも増えてきました。その中の1つチロリロリン（正式名称はシロフォン付玉の塔）。直径1センチ程の玉を穴に入れジグザクに転がっていき、最後の鉄琴のドレミファソの音色を楽しみます。だんだん遊んでいくうちに玉を転がしては、片手で玉をせき止めもう一方の手で玉を入れ続け玉の列を作り長い音色を楽しむのです。その時の目つきは真剣です。一気に転がり落ちるのをにんまりと楽しんで繰り返しています。

また最近、1人ずつ7色のマジックを1箱ずつマークを付けて配りました。それを自分の宝箱の引き出しにしまいそれぞれが管理しています。「お絵かきやりたい」と言っでは自分自身で紙とマジックを出して描画が始まります。描画をすることも増えました。ほかにも紐通し、プッチンピース、なども楽しんでいます。手先が器用になっていくので少しずつはさみを使ってみる、ボタンをはめる等に挑戦していきたいと思っています。



ちゅうりっぷ組

【10月の保育のねらい】

- ・どんぐりや落ち葉などの秋の自然に興味関心を持つ。
- ・保育者や友だちと一緒に、走る、跳ぶなどして、思いっきり体を動かして遊ぶ。

<食事>

ちゅうりっぷぐみは、給食もおやつもホールで食べています。食事の時間になると、自分の椅子と口拭きタオルを持ってホールへ行き、名前を呼ばれた子からおかずやご飯を配膳台まで取りに来ています。今は“椅子を机にしまって、走らず歩いてくること、食器は両手で持って運ぶこと”を意識できるように声を掛けています。忘れてしまうこともあるけれど、少しずつ身につけてきているこどもたちです。

配膳は、「大盛りにして」「苦手だからちょっとにする」「ちょっとだけ食べてみて、おいしかったらおかわりするね」など、自分の食べられる量や食材を自分で伝えて、盛ってもらっています。自分で量を決めて盛ってもらったものを食べられたことは自信につながり、「大盛り食べちゃったもんね」「〇〇ちゃんこれ食べられたじゃん」などと友だち同士、完食を喜び合う姿が増えてきました。

食欲の秋。毎日全身を使って全力で遊ぶこどもたちの食欲も増々増えていくことでしょう。食べる時の姿勢や食具の持ち方、食器の位置などの食事マナーをしっかり伝えていながら、楽しい雰囲気食事の時間を過ごしていきたいと思っています。



さくら組

【10月の保育のねらい】

- ・友だちと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・色々な素材（毛糸・アルミ・紙など）や物（カップや箱など）を使って制作を楽しむ。

<友だちっていいね>

なるべくみんなで一日一回は部屋やホール、公園などでルールのある遊び（鬼ごっこやハンカチ落とし、どんじゃんけんぼんなどなど）をして遊ぶようにしています。さくら組になったばかりのころは、「みんなで一緒に何かあそぼう」と保育者が提案しても「みんなと一緒に遊ぶのはやだー自分の好きなことをしたい」「わからないからやりたくない」という姿が多くみられたのですが、日々色々な遊びをみんなでして経験を重ねたことで、友だちと一緒にあそぶ楽しさがわかってきて、こどもたちの方から、「公園でみんなで～したい」「ホールでみんなで～したい」という声が聞こえるようになってきました。

ルールのある遊びは、ルールを守らないと「だめだよ。いまタッチしたよ。動いちゃだめ」「ずっと自分ばかりがハンカチもってつままないよ」「ズルする人はやだ」と友だちにはっきりと言われることで、ルールを意識して遊ぶようにもなっています。自分だけで遊ぶより、友だちと遊ぶ方がもっと楽しいということに気が付いてきたこどもたちは、日中の生活の中でも友だちの存在を気にするようにもなっています。「友だちがいるからがんばれる」「友だちのためになにかしたい」という気持ちもものすごく育っています。日々の中でケンカもすることもあります。お互いの気持ちをわかり合えるようにすごして行けたらと思います。



もみじ組

【10月の保育のねらい】

- ・自分の力を発揮し、達成感を味わう。
- ・共通の目的を持つ中で、協力する喜びを感じる。

<リズム運動 たのし〜い！>

リズム運動を本格的に再開しました。久しぶりということもあり、ピアノが鳴っても「アレ?! どうだったかな?!」と言っていました。思い出しながら体を動かしています。

【トンボ】では両手を真っすぐに大きく伸ばし走っていますが、走る速さや両手の伸ばし方などが、さくら組の頃に比べて速く堂々としていることに驚きました。又、しゃがんだ姿勢でつま先で進む【アヒル】も、背筋をピンと伸ばし進んでいます。もみじ組になり、前進だけでなく後ろ向きのままバックする新しい動きも取り入れ行っています。

「もみじさんだからね！」と張り切っているこどもたちです。「もみじさんだけ」といえば【もみじガエル】にも挑戦しています。「〇〇くん、できる!」「両足でキックだよ!」と友だち同士で声を掛け合い、毎日がんばっています。

できない期間があった分、リズム運動で身体を動かすことがとても新鮮に感じているようでのびのび気持ち良さそうに運動しているこどもたちです。

